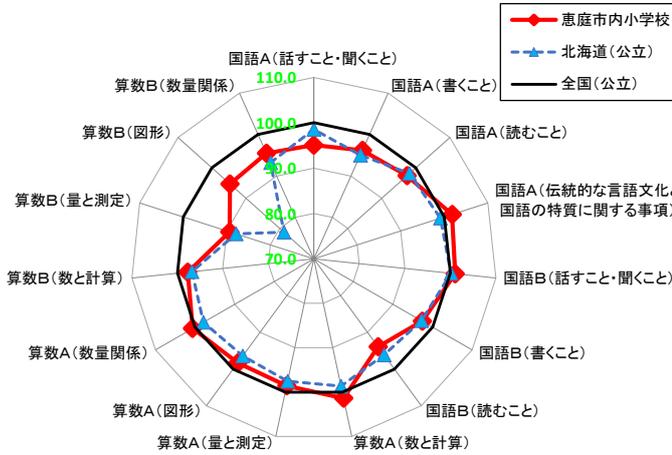


# ■ 恵庭市内小学校の状況及び学力向上策 (学校数:8校、児童数:585人)

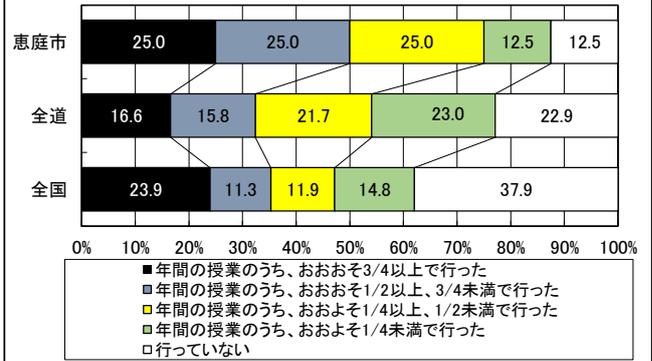
## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



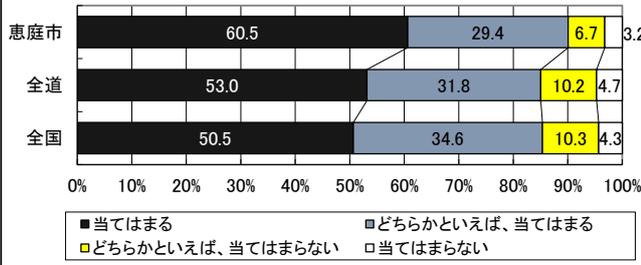
## 【学校質問紙調査】

算数の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか

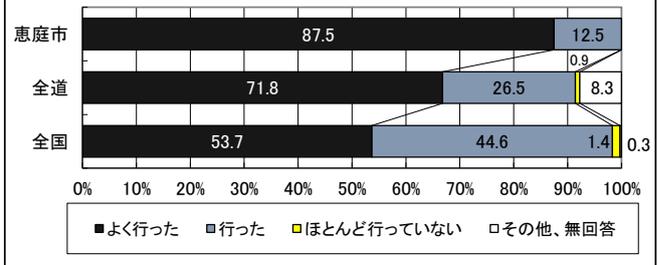


## 【児童質問紙調査】

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいましたか



平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ すべての教科において、前年度の平均正答率を上回っている。</li> <li>○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。</li> <li>○ 算数Aでは、「数と計算」「数量関係」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 算数における習熟度別少人数指導など、個々の児童へのきめ細かな指導を行ったことにより、分かるまで教えてくれると回答した児童の割合が高くなったと考えられる。</li> <li>○ 各学校で、全国学力・学習状況調査の結果の分析内容を全校で共有し、児童の実態に応じた授業改善に取り組んだことにより、学習内容の定着につながったと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいました」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「算数の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> <li>○ 「平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	

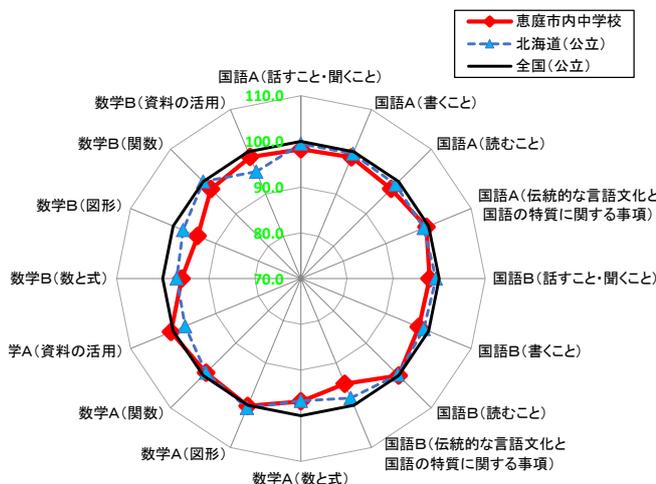
## 【恵庭市の学力向上策】

- ◎ ICT等の教育環境整備として、市内の小・中学校への電子黒板とデジタル教科書の導入
- ◎ PTA等との連携による、学校と家庭が一体となった生活習慣の改善に向けた取組の推進
- ◎ 幼・小の連携協力校の指定及び小中連携教育推進委員会の設置による、円滑な接続を目指した取組の推進

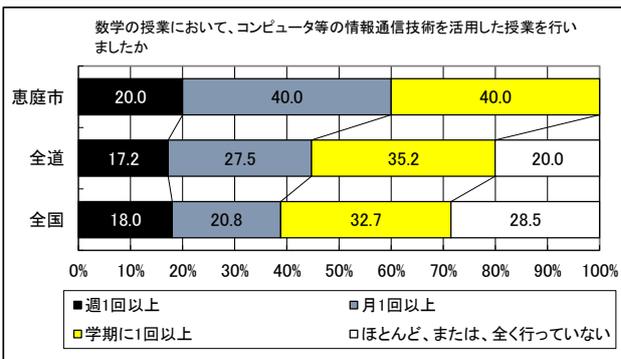
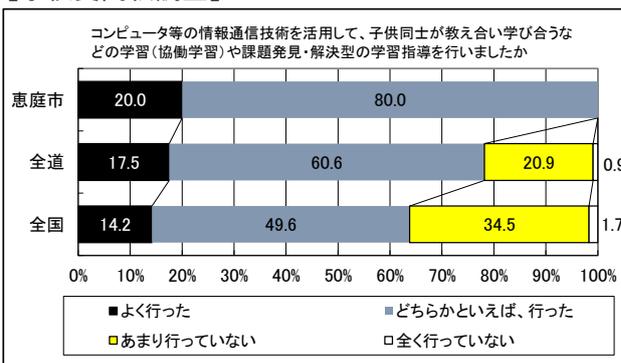
# ■ 恵庭市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、生徒数:612人)

## 【教科全体の状況】

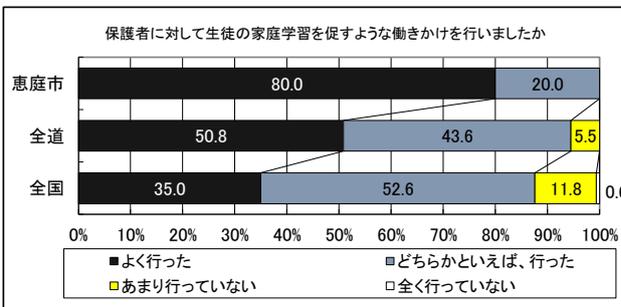
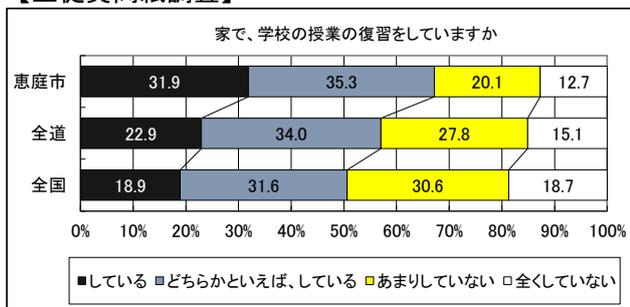
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【学校質問紙調査】



## 【生徒質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全道を上回り、Bでは、「読むこと」で全国と同様になっている。</li> <li>○ 数学Aでは、「図形」「資料の活用」で全国を上回り、Bでは、「資料の活用」で全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電子黒板やデジタル教科書など、ICT機器を活用した授業改善を推進したことにより、数学Aの「図形」「資料の活用」において、学習内容の確実な定着につながったと考えられる。</li> <li>○ 保護者に家庭学習を促すような働きかけを継続して行ったことにより、家で学校の授業の復習をすると回答した生徒の割合が高くなったと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> <li>○ 「コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習(協働学習)や課題発見・解決型の学習指導を行った」「数学の授業において、コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	

## 【恵庭市の学力向上策】

- ◎ ICT等の教育環境整備として、市内の小・中学校への電子黒板とデジタル教科書の導入
- ◎ PTA等との連携による、学校と家庭が一体となった生活習慣の改善に向けた取組の推進
- ◎ 幼・小の連携協力校の指定及び小中連携教育推進委員会の設置による、円滑な接続を目指した取組の推進